

NETIS登録番号	技術名称	マルチ導水側溝				
QS-100033-A	副題	スチール透水蓋とコンクリート側溝を一本化し排水機能を備えた二次製品				
分類1	共通工	排水構造物	側溝工	プレキャストU型側溝	キーワード: 環境、コスト縮減・生産性の向上、景観	
分類2	付属施設工	路側工				
開発目標		経済性の向上、周辺環境への影響抑制				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術					
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし					
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名	エムシー産業株式会社			TEL	0954-26-9535
	住所	〒843-0012 佐賀県武雄市橘町大字片白字馬場9922-1			E-MAIL	aiura@mc-sangyo.com
	担当者	相浦 敬次郎				
実績件数 H25.9.25現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等	
	件		件		1 件	

技術概要:(300字以

①何について何をやる技術なのか?

- ・排水性舗装に対応した側溝。
- ・表面排水能力と景観を向上する製品。

②従来はどのような技術で対応していたのか?

- ・円型水路都市型用は、排水性舗装の水を側溝頂版に設けられたスリット及び排水孔で排水していた。

③公共工事のどこに適用できるのか?

- ・排水性舗装工事の車道部、歩道部の側溝工事。

どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

- ・排水口を3箇所とした。
 - ・側溝両端の山形鋼は脱着可能な開口構造とした。
- 期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)
- ・排水能力が大きく路面の水溜りや水はねの低減につながる。
 - ・製品のジョイントは直接手を差し入れることができるため、目地作業が容易である。
 - ・開口部があるため、内側吊りができ、ブロック塀等に接する箇所でも施工可能である。

現場条件

- ・吊り上げバックホウ(クレーン機能付き)の作業半径5.0m程度。
- ・製品搬入の為のスペースとして3m×10m=30㎡程度。

適用可能な範囲

- ・溝幅300と400mm (T-25)
- ・上記に伴う集水柵と横断用

特に効果の高い適用範囲

- ・都市部や通勤、通学路など人が集中する地域
- ・車道部、歩道部を広く占有させたい地域。
- ・水はね防止に役立てる

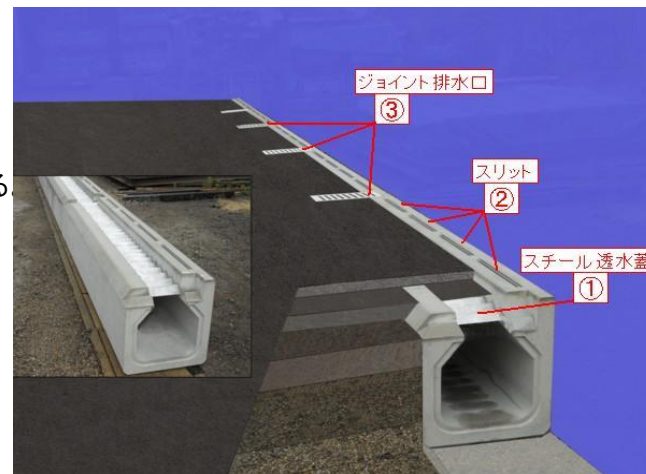
留意事項

製品に使用する等辺山形鋼の腐食については、溶融亜鉛メッキ(JISH8641 HDZ45)を施していますが腐食性ガスの噴出する地域や、大量に凍結融解剤を散布する地域には留意が必要です。

断面形状が対称でない為、専用の吊り具が必要です。

アスファルト舗装と側溝本体のコンクリート面の接面部はタックコートが必要

10m当たり施工費



項目	仕様	数量	単位	単価	金額	適用
マルチ導水側	溝幅300	10	m	12,500	125,000	
布設工	管渠型側溝	10	m	2,920	29,200	
基層工(排水性)	平均厚3.1cm	1.53	m2	1,672	2,558	
表層工(排水性)	t=5cm	2.95	m2	1,779	5,248	(1m当たり)
計					162,006	

